

桑名市ブランド推進委員会 会議概要

日時・場所	令和5年2月17日(金) 10:00～12:00 六華苑和館一の間
出席者	委員： 8名(代理1名) ブランド協議会：1名 市長： 1名 その他市役所：2名 事務局： 5名
会議次第	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会 2 市長あいさつ 3 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 桑名ほんぱく2022について (2) 観光魅力創出事業 桑名の特別な体験ツアー (3) これまでに上げた事項について <ul style="list-style-type: none"> ・スマホアプリ「桑名城探訪」 ・ホームページ ・かわまちづくり議事 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 都市再生推進法人について (2) 桑名ブランドビジョン2040 5 その他 6 閉会
概要 (主な意見)	<ol style="list-style-type: none"> 3 報告 <ol style="list-style-type: none"> (1) 桑名ほんぱく2022について <ul style="list-style-type: none"> ○リピーターが多いのは、良い面でもあり悪い面でもある。もっと子育て世代にも参加してもらえるように、新規枠を設けたり、ターゲットを絞ったキャンペーンを行うなど、違ったやり方も考えた方がいい。 ○中高生でもチャレンジできるような機会があるといい。 プロジェクトベースドラニング(課題解決型学習)の場として。 ○より広い層に参加してほしい。ワインやゴルフを取り入れたプログラムがあってもいいのではないか。 (2) 観光魅力創出事業 桑名の特別な体験ツアー <ul style="list-style-type: none"> ○桑名には華やかさがある、一つ一つじっくり体験できるといい。 (3) これまでに上げた事項について <ul style="list-style-type: none"> ・スマホアプリ「桑名城探訪」 ・ホームページ ○各ページの直帰率をみると、どのページが見にくいかわかる。 ・かわまちづくり 4 議事 <ol style="list-style-type: none"> (1) 都市再生推進法人について <ul style="list-style-type: none"> ○スタートアップさせていく環境づくり。副業や趣味の延長でもいい。軒先を貸すという発想 ○行政だと進まないところをテンポよく進めてほしい。事業を進めてい

く上で、収入源はどうするのか。新しい形として期待している。
⇒自立するところまで行けるところは稀で、かなり都市部の良い立地のところしか自立は難しい。どう持続させていくのか、コストの問題とからんで重要なポイント。良い形を模索して行きたい。手弁当型で、当面はやっていく。

- あまり難しく考えるのではなく、楽しい体験価値を考えていくとお金がついてくることがある。
 - 既存のイベントにのっかることで、費用面を軽減できる。スタートアップも新規だけに拘らず、既存店の新しい分野への進出というパターンも入れてはどうか。
 - 石取祭の時に、店を出すのもいいのでは。
 - 大阪市がB I Dに関する条例を作って進めている。
- (2) 桑名ブランドビジョン2040
- ローカルな中での、サステナブル・ツーリズムという取り組みが出てきている。
 - どうやってシビックプライドを醸成していくのか。
 - チャレンジするにあたって地域の金融機関や老舗のお店、ベンチャー企業などが連なって実施する。1社よりも、2～3社できるとプラットフォーム感が出てくる。
 - 人口減少問題は、インパクトが大きい。企業にとっては、大きな問題。桑名市の魅力向上という面で情報発信は大事。費用対効果が大きい。それと回遊性。モビリティの部分で桑名には課題がある。選択と集中で、一カ所だけというのは難しい面もあるが、検討してほしい。
 - チャレンジしてる桑名という面が出せるといい。就活における大企業神話はもう無い。賢い人から、起業するというのがトレンド。そういったところでのチャレンジ感は若者に刺さる。シビックプライドの部分でも、ここは何かやってるといふ雰囲気が心に響く。
 - 迎賓館化という提案は非常に魅力がある。今後、いろいろな方からアイデアを出してもらって進めると良い。
 - 六華苑はまだまだ伸びしろがある。
 - 財源については企業版ふるさと納税を使うとか、プレーヤーを増やしていてもいいのではないか。間口を広げていく。
 - 寄附の集め方もいろいろある。多くの人が集まって、その場でプレゼンテーションして寄附を集めるという手法もある。六華苑をどうして行きたいのか、それをやることで何が生まれるのか、それをはっきり提案できないといけない。

5 その他

・六華苑 110 周年記念事業

- ターゲットをしっかりと決めてPRしないと、方向性がブレてしまう。